

平成 19 年度事業報告書

第1 事業の状況

I 熊本市からの受託事業(熊本市現代美術館の管理運営に関する指定管理業務)

1 熊本市現代美術館の施設等管理運営業務

- (1) 日常管理業務
 - ① 美術館来館者の案内、受付等
 - ② 企画展入場者の受付及び料金徴収等
 - ③ 各種使用料等(光熱水費・電話代等)管理及び支払

- (2) 施設使用許可及び美術品等特別利用許可等に関する事務
施設等使用申請の受付、施設等の貸出管理及び料金徴収

- (3) 美術館に対する意見、要望の聴取等
 - ① アンケートの実施
 - ② 来館者、電話、メール等への対応

- (4) 美術館の施設及び設備等の維持管理
 - ① 施設及び設備等の日常管理
 - ② 電気・空調等設備機器保守管理
 - ③ 施設の清掃
 - ④ セキュリティ及び防災システム管理並びに警備
 - ⑤ 美術情報システム及びVODシステム機器リース並びに保守

- (5) その他美術館の運営にかかる業務

2 美術作品、作家等に関する調査及び研究等業務

(1) 美術文化に関する調査・研究

招聘作家の選定、作家及び関係機関との連絡調整を実施。

平成 20 年度開催予定の展覧会は下記のとおり。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ① 日比野克彦 HIGO BY HIBINO 展 | (~H20.4.6) |
| ② ピクニックあるいは回遊展 | (H20.4.19~H20.7.6) |
| ③ メモリアーまなごしの軌跡展 | (H20.7.19~H20.10.19) |
| ④ 荒木経惟展 | (H20.11.1~H21.2.15) |
| ⑤ 熊本アートパレード 熊本市民美術展 | (H21.2.28~H21.3.15) |
| ⑥ 熊本の華人展 Vol.4 | (H21.3.20~H21.3.29) |

- (2) 翌年度以降開催予定展覧会等の企画等
国内外の専門家と情報交換を行い、熊本の芸術文化や国内外の現代美術作家等の調査・研究を継続的に実施。
- (3) 熊本市収集作品の予備調査及び報告
熊本市の収集候補作品について、国内外から情報を収集し、データの集積を継続的に実施。
調査した内容について取りまとめ、熊本市作品収集委員会(平成19年10月11日(木)開催)の基礎資料として提出。
 - ① インターナショナルアドバイザー(2名)による海外における現代美術の状況調査
 - ② 国内現代美術専門家(7名)による国内の現代美術作品に関する調査
 - ③ 当館学芸員による調査
- (4) 図書資料の収集、整理及びホームギャラリー、キッズサロン等における市民への開架
 - ① 書籍の購入(598冊)
 - ② 検索サービスの向上並びに書籍保護を目的とした図書装備
 - ③ 図書資料等のデータ管理
- (5) 熊本市所蔵作品等の整理、保管及び貸出等
 - ① 熊本市所蔵作品の管理・保管
 - ② 熊本市収蔵作品の貸出等

3 美術教育普及事業等の実施

- (1) 美術館広報活動
熊本市現代美術館を市民に周知、より身近な存在として捉えてもらうため、刊行物の発行及び各メディアへの情報提供を実施。
その他、当館ホームページの内容をリアルタイムで更新。
- (2) 教育普及プログラム等の実施
市民に向けたトークショーやワークショップ等の実施。
 - ① 講演会・トークショー等の開催
 - ② 関連イベントの実施
 - ③ ワークショップ等の開催
 - ④ 案内ツアーの開催
 - ⑤ その他
- (3) メディアギャラリー及び美術情報システム等の管理・運営
 - ① メディアギャラリーの管理・運営
 - ② 美術情報システムの管理・運営

(4) ボランティア活動の管理等

4 展覧会等事業の企画及び開催

来館者数／平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日

① 美術館総入館者数	177,595 名
② 企画展総入場者数	32,973 名
③ 井手宣通記念ギャラリー及びギャラリーⅢ 総入場者数	37,371 名

(1) ギャラリー I・II

国際的な視点と地元の文化を検証する視点の双方から企画した展覧会を開催。

(2) 井手宣通記念ギャラリー

美術館建設の端緒となった井手宣通を顕彰するため、年間を通じて市収蔵作品を展示。

(3) ギャラリーⅢ

九州、熊本出身、または九州に根を下ろしてがんばっているアーティストや、九州、熊本の文化を応援する展覧会を開催。

(4) エントランス

市民が気軽に本物の美術作品に触れる機会を増やし、楽しんでもらうため、無料スペースであるエントランスにも、所蔵作品を展示。

(5) 階段ギャラリー展示

3 階から 5 階へ上がる階段壁面及び踊り場に、子ども達の作品を展示、紹介。

II その他自主事業、協働事業等

1 助成金の申請及び取得

(1) 調査研究関係

- ① 新進芸術家〈学芸員〉海外研修制度(文化庁)
- ② 学芸員等の博物館職員の内外研修に対する助成(カメイ社会教育振興財団)

(2) 展覧会関係

- ① 地域文化施設展示活動(美術館展示活動)助成金(日本芸術文化振興会)
- ② 地域の芸術文化環境づくり支援事業実施助成金(地域創造)

2 協働・共催・協力等事業

(1) 中心商店街等連合協議会協力事業

- ① 第3回城下町くまもとゆかた祭
- ② 第3回城下町くまもと銀杏祭

(2) 商店街等協力事業

- ① 日比野克彦オリジナルデザイン手ぬぐい作成
(上通商栄会・下通繁栄会・サンロード新市街・熊本市中央繁栄会連合協議会協賛)
- ② 明後日朝顔プロジェクト2007
(上通商栄会・下通繁栄会・サンロード新市街・熊本市立城東小学校協力)
- ③ 段ボールで石垣を作ろうワークショップ
(KAB熊本朝日放送共催
上通商栄会・下通繁栄会・サンロード新市街・河原町協力・熊本商工会議所後援)

(3) STREET ART-PLEX 実行委員会協働事業

- ① フラメンコ公演『Framenco at the Museumーアルテ・イ・コラソン〜芸術と心ー』
- ② 『Castel In The Air』コンサート

(4) サムライ祭実行委員会協力事業

高校生によるサムライ祭開催への協力

(5) 社会福祉法人同胞友愛会知的障害者通所授産施設 友愛育成園との協働事業

オリジナルストラップの制作・販売

(6) 企業等との協力事業

- ① シーナ&ロケッツ トーク&コンサート
- ② 日比野克彦 トーク&サイン会
 - ・ TSUTAYA AV CULB(ニューコ・ワン株式会社)協賛
- ③ 日比野克彦商品共同開発
 - ・ ホテル日航熊本
 - ・ 株式会社お菓子の香梅
 - ・ 浜田醤油株式会社

3 研修・団体見学等の受け入れ

- (1) 学芸員実習、インターン、ナイストライ等の受け入れ、研修事業
- (2) 団体見学案内等

Ⅲ 受賞等

1 JAFRAアワード(総務大臣賞)受賞 (地域創造)

地域における創造的で文化的な表現活動のための環境づくりに特に功績のあった公立文化施設を表彰することにより、文化施設の更なる活性化を図り、美しく心豊かなふるさとづくりの推進に寄与することを目的として、財団法人地域創造が実施。

平成 19 年度は全国で 8 施設が選ばれた。

熊本市現代美術館は、『地域文化をプロデュースし、熊本の文化力を発信する『まちなか美術館』として、街の賑わいづくりに貢献している』と評価された。

2 県民が、見て・触れて・使って遊ぶ『くまもとユニバーサルデザイン(UD)大賞』入賞

(熊本県総合政策局企画課特定政策推進室)

熊本県内のすぐれたユニバーサルデザイン(UD)の取り組みを県内外に発信し、UD への取り組みの推進と UD の普及啓発を図るため、熊本県が実施。

76 点の応募の中から 12 点が入賞。

『施設のフラット化、多目的トイレや授乳室のほか、誰でも自由に休憩できる無料スペース』が評価された。

平成19年度 展覧会開催等事業

展覧会		期間	入場者
美術館年間入館者		177,595名	
企画展	年間企画展入場者	32,973名	
森村泰昌－美の教室、静聴せよ		3月からの入場者	7,284
森村泰昌本人が、自分の作品を教材として、『美とは？芸術とは？』何かを問いかける展覧会。 横浜市美術館へ巡回。		3月24日～7月8日 (92(85)日間)	(6,605)
美術館開館5周年・熊本城築城400年記念 ATTITUDE2007人間の家－真に歓喜に値するもの			
人間が対峙する逆境や苦境を、芸術として表現しようとするアーティスト。苦境に身を置きながら、表現活動により苦しみを昇華させようとする人々。『芸術』とは人間にとって何なのかを問いかける展覧会。		7月21日～10月14日 (74日間)	8,905
熊本アートパレード 第19熊本市民美術展			
出品された作品をすべて展示するアンデパンダン展方式を当初から採用している市民美術展の第19回目。 前衛芸術グループ「九州派」の菊畑茂久馬氏が審査員を務め、『ときをこえて』というテーマに沿った作品を公募、324点の作品が集まった。 また、今年度は初めて地元企業から協賛をいただき、入賞者の賞金に充てた。		11月3日～18日 (14日間)	3,225
熊本の華人展			
熊本県内20流派のいけばなの団体による展覧会、第4弾。 熊本市収蔵作品といけばなのコラボレーションによる展示コーナーを設けるなど、新しい試みも実施した。		11月23日～12月2日 (6日間)	7,479
美術館開館5周年・熊本城築城400年記念 日比野克彦 HIGO BY HIBINO展		4月までの入場者	8,136
熊本の『街』『人』と日比野克彦が約1年前から検討を重ねて作り上げた展覧会。会場内に広大な無料のワークショップスペースで、市民と日比野が一体となって、築城400年を記念した巨大な段ボールの石垣を作成した。 日比野克彦を媒体として、人と人との繋がりが形作られていく希有な展覧会となった。		12月15日～4月6日 (93(88)日間)	(6,759)
井手記念ギャラリー・エントランス(無料ゾーン)展示			
エントランス(無料ゾーン)作品展示替え(17点)		4月11日～	
井手宣通記念ギャラリー 春の展示(9点)		3月28日～8月30日	
井手宣通記念ギャラリー 夏・初秋の展示(9点)		8月30日～11月26日	
井手宣通記念ギャラリー 冬の展示(10点)		11月28日～3月4日	

展覧会		期間	入場者
ギャラリーⅢ	年間ギャラリーⅢ入場者		37,371名
vol.46 瀧田安子『絵画』を巡る闘争！		3月からの入場者	5,534
海老原喜之助に薫陶を受け、熊本の地で作品を作り続けてきた瀧田安子の全容を探る展覧会。		3月28日～5月27日	(5,059)
vol.47 元田久治展		(展示替期間)	31
熊本出身の若手作家の個展。 崩壊する都市の風景を、精緻な版画(リトグラフ)の技法で、淡々と表現。 題材の悲壮感を感じさせない、不思議な明るさを持った作品を展示。		5月30日～7月29日	5,108
vol.48 古場田博展 二本木「遊郭」-絵巻物・絵画・人形で遊郭を回る		(展示替期間)	75
熊本出身の絵師古場田博の個展。 二本木遊郭の盛衰を描いた全長40メートルの絵巻を中心に絵画、立体作品、遊郭街として栄えた当時の記録写真等を展示。		8月1日～9月24日	10,037
vol.49 熊本城築城400年祭記念 描かれた熊本城-近世城下図にみる熊本 ～紙本・絹本・写真パネルによる展示～			
築城400年を記念し、熊本城を中心とした九州の城郭図を市民に公開。 熊本城を中心に栄えた城下町熊本を、都市図を通して振り返る展覧会。		9月26日～11月18日	4,134
vol.50 盆栽という名の宇宙vol.4 -日本盆栽協会熊本支部銘品展		(展示替期間)	33
戦前まで盆栽のメッカであった熊本の盆栽に改めて光を当てようという展覧会。 日本盆栽協会熊本支部の協会員による32席を出品。		11月22日～26日	747
vol.51 熊本の作家(6) 海老原喜之助と坂本善三展 -熊本とパリを胸に抱いて-			
人生の大きな転換期を熊本、パリという2つの土地で迎えた二人の画家に焦点を当てた展覧会。		11月28日～1月13日	2,890
vol.52 gaju「ありがとうのあしあと」展 つみかさなる想い		(展示替期間)	82
熊本出身の若手作家の個展。 粘土を使って精力的な活動を続けるgaju(ガジュ)の、温かみと迫力を併せ持つ作品を新作も合わせて展示。		1月16日～3月2日	5,815
vol.53 第13回熊本市シルバー文化作品展 主催:熊本市老人クラブ連合会		(展示替期間)	30
熊本市老人クラブ連合会が主催する展覧会。老人クラブ会員の力作を展示。		3月9日～3月23日	2,333
vol.54 春の熊本市収蔵作品選 -中島千波、千住博、森山淡草-		4月までの入場者	1747
熊本市の収蔵作品による展覧会。 桜の花の季節に、自然の美しさに接する喜びを表現した作品3点を展示。		3月26日～4月6日	(997)
階段ギャラリー			
熊本友の会 幼児生活団 こどもたちの作品展 vol.4		3月28日～5月13日	
熊本市立北部東小学校児童作品展「からくり人形」 5年1組、2組、3組		7月25日～9月3日	
熊本県立熊本養護学校 中学部・高等部 作業製品		9月27日～12月3日	
熊本市立五福小学校 3年生の作品展		12月8日～12月23日	
熊本市立春竹小学校6年生 からくり人形作品展		12月28日～1月19日	
熊本友の会 幼児生活団 こどもたちの作品展 vol.5		3月19日～	
その他展示			
熊本市役所議会等特別委員会室展示替え(34点)		11月16日～	
熊本市市民病院ミュージアム&コンサート 『gaju』作品展(芸術文化出張講座共同事業)		3月4日～3月13日	

森村泰昌展



ATTITUDE2007



熊本アートパレード／熊本の華人展



日比野克彦展



日比野克彦展イベント・イベント



G3での展覧会とイベント

46



47



48



49



50



51



52



53





入館者100万人を突破



国際アドバイザー講演会



議会棟ギャラリー



いのちの花壇



ピアノボランティア
によるコンサート



ワークショップ
ボランティア活動

